平成 27 年度 第 5 回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 平成 27 年 8 月 19 日 午前 9 時 30 分から

場所 宍粟市役所 401 会議室

第5回（定例）宍粟市教育委員会会議録

1 開会・閉会の年月日時及び場所

平成27年8月19日（火） 午前9時30分 ～ 午前10時55分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

宍粟市役所 401会議室

2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

西岡章寿	教育長	杉本健三	委員
弓削ルリコ	委員	田中真人	委員
金本一二	委員		

事務局

藤原卓郎	教育部長	楳谷米男	教育部次長
澤田志保	教育総務課長	志水良和	学校教育課長
田村純司	こども未来課長	田路正幸	社会教育課長
菊元 学	学校給食センター所長	橋本 徹	教育総務課副課長

3 開会

西岡教育長が開会した。

4 会議の成立宣言

出席者数5名となり、西岡教育長が会議の成立を宣言した。

5 会議録署名委員の指名

(1) 署名委員は、西岡教育長の指名により、次のとおり決定された。

金本委員

6 前回会議録の承認

第4回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、教育総務課 澤田課長が説明し、承認された。

7 教育長報告

次の3点について西岡教育長が報告した。

(1) 学校規模適正化・幼保一元化推進状況について

一宮北中学校区学校規模適正化については、8月5日に第10回地区協議会を開催し、新校の

遠距離通学対策について協議し、スクールバスの運行と対象地区等が決定された。伊水・都多小学校区学校規模適性化・幼保一元化については、8月18日に第7回地域の委員会が開催され、伊水小学校区保護者の方向性については、「教委の方針のとおり中学校に近い場所ですすめたい」と報告があり、都多小学校区保護者の方向性については、「現状のまま小学校を存続し、おおよそ5年間様子を見ながら、都多小については耐震化を、伊水小については体育館等の建設を進めてもらいたい。」との報告があった。その結果、地域の委員会としては、学校規模適性化については概ね5年間を目途に協議を凍結し、再度話し合いをすることになった。また、幼保一元化については都多幼稚園がアンケートの結果では来年度就園希望がないことなど、今後、幼稚園の協議を早急に行いながら、その後、状況が落ち着いた段階で別の幼保一元化の委員会を立ち上げて協議していくことに決まった。

一宮北中学校区幼保一元化については、7月29日に地域の委員会が開催され、9月に認定こども園の視察を行うことになった。一宮南中学校区幼保一元化については、7月23日に地域の委員会が開催され、10月に認定こども園の視察を行うことになった。

(2) 工事の進捗状況について

(仮称)一宮北小学校校舎建設工事起工式が、8月4日、市議会議員、地元自治会長等の出席のもとで行われ、28年3月の完成をめざして工事を進めている。

千種認定こども園及び図書館工事については、ほぼ完成に近付いており、9月1日の竣工式に向けて、準備を進めている。図書館のオープンについては、図書の整理期間等もあり、9月19日土曜日と予定し準備を進めている。

(3) その他

中体連の結果については、水泳部で、近畿大会に山崎西中学校の水泳部所属の生徒が200m自由形に出場し優勝した。そして、全国大会への出場権を獲得し、出場結果、予選19位の成績を収めた。相撲部では、近畿大会に一宮南中学校相撲部が団体戦に出場し準優勝の成績を収めた。

8 議事

議事に入る前に、第3号議案は、地方自治法第149条の規定に基づき、地方公共団体の長が担任する事務で議会の議決を経るべき事件の案件で、議会提案前の内容となっており、また、第4号議案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、地方公共団体の長が議会の議決を経るべき事件の議案作成において教育委員会の意見を聞くもので、議会提案前の内容となっており、地方公共団体の意思形成過程、意思形成の中立性の観点から非公開にしたいと教育長が説明し、審議の結果、全員「異議なし」とし、第3号議案、第4号議案は協議報告事項終了後の非公開審議が決定された。

9 協議報告事項

(1) 平成28年度使用学校教科用図書・一般図書の採択について

資料1「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の一部を改正する法律」「同法施

行規則の一部改正省令」「同法律施行令の一部改正政令」「西播磨教科用図書採択地区協議会規約」「平成28年度使用中学校教科用図書採択に係る選定結果について」「平成28年度使用小学校教科用図書採択について」により、教育総務課 澤田課長、西岡教育長が報告した。

(2) 学校規模適正化・幼保一元化推進状況について

資料1「学校規模適正化・幼保一元化推進の状況」により、学校規模適正化については、教育総務課 澤田課長、幼保一元化については、こども未来課 田村課長が報告した。

(3) 1学期「いじめアンケート調査」の結果について

資料3「平成27年度1学期「いじめアンケート調査」等の報告」により、学校教育課 志水課長が報告した。

(4) 幼稚園・保育所における第三者評価の実施結果について

資料4「播磨地域福祉サービス第三者評価 評価結果報告書」により、こども未来課 田村課長が報告した。

(5) (仮称)ちくさ図書館書架等備品購入事業について

資料5「(仮称)千種図書館書架等備品購入事業」概要により、社会教育課 田路課長が報告した。

(6) 宍粟市指定文化財の現状変更許可について

資料6「宍粟市指定有形文化財現状変更等許可申請書」により、社会教育課 田路課長が報告した。

(7) 学校給食における異物混入について

資料7「学校給食異物混入の状況報告」により、学校給食センター 菊元所長が報告した。

(8) その他

2学期学校訪問について、資料8「平成27年度学校訪問実施予定表」により学校教育課 志水課長が、千種認定こども園舎・ちくさ図書館新築工事竣工式について、資料9「千種認定こども園舎・図書館新築工事 竣工式次第」によりこども未来課 田村課長が、兵庫県人権教育研究大会西播磨地区大会について、資料10「第62回兵庫県人権教育研究大会西播磨地区大会」により社会教育課 田路課長が報告した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(金本委員)

学校教科用図書・一般図書の採択について、西播磨教科用図書採択地区協議会規約第5条で定める委員には、今年度、宍粟市は何名の委員を任命しているか。また、第13条で定める調査員には、何名の調査員がどのような方法で決定され委嘱されているか教えていただきたい。

(教育総務課長)

委員の任命人数は、宍粟市から教育長 1 名、学校長代表の 1 名、PTA 代表の 1 名、教諭代表の 1 名で、今年度は中学校用図書の選定につき、学校長等の各委員は中学校関係者を任命している。

(学校教育課長)

調査員は、校長会各教科担当部会からの推薦者を任命している。また、教科書選定の中立性の観点から氏名等の公表は行っていない。

(杉本委員)

同協議会規約第 13 条では種目ごとに調査員を委嘱するとあるが、中学校教科用図書採択選定結果一覧表の資料では、教科と表記されているので確認されたい。

(学校教育課長)

該当箇所は、種目と訂正する。

(弓削委員)

同協議会規約で定める委員等については、いわゆる世間で事件を起こしたりするような、極端な考えや思想を持つ人は除外されていると思っているが、いかがであるか。

(学校教育課長)

委員等については、ご心配されている考えや思想を持つ人への任命は無いとお考えいただきたい。

(金本委員)

幼保一元化地域の委員会一宮南地区、同地域の委員会一宮北地区で予定されている視察先はどちらのほうに行かれるのか、また、視察先検討として、公立または民間の経営区分もわかれば教えていただきたい。

(こども未来課長)

一宮南地区としては、社会福祉法人経営のちくさ認定こども園とたつの管内周辺の公立の幼保一元化施設を、また、一宮北地区としては、社会福祉法人経営のちくさ認定こども園と、朝来管内又はたつの管内周辺の公立の幼保一元化施設を視察先として現在検討としている。

(田中委員)

27 年度 1 学期「いじめアンケート調査」について、調査結果 16 件について、その状況等教えていただきたい。

(学校教育課長)

アンケートによる認知・対応が 12 件、アンケート外の認知・対応が 4 件である。アンケートによる認知・対応とは、アンケートにより認知しそれにより聞き取りや対応を行ったもので、アンケート外のものとは既に毎月の生徒指導報告等により認知済みのもので、聞き取りや対応済みのものである。すべての事例について対応済みであり、また、必要なものは見守りを継続しつつ丁寧な対応を続けている。

(杉本委員)

幼稚園・保育所における第三者評価について、年間の評価計画等あれば説明をいただきたい。

(こども未来課長)

26年度は、幼稚園と保育所は1箇所ずつの評価であった。27年度以降は、26年度評価内容も精査しながら実施年度も検討し、最終的には全ての幼稚園と保育所は全園所の第三者評価を実施したいと思っている。

(弓削委員)

幼稚園・保育所における第三者評価について、達成度における「職員の資質向上」項目の評価結果について、何をもって向上の余地ありと評価されているのか、わかる範囲で結構なので教えていただきたい。

(こども未来課長)

この項目は、職員への聞き取りにより評価されており、もう少し主体的に質の改善について向上の余地があるとして、保護者アンケートの結果も加味され評価されたと考えている。

(教育長)

2学期学校訪問について、訪問者の今後の調整予定について確認させていただきたい。

(学校教育課長)

教育委員会終了後、調整させていただく予定でありご協力をお願いする。

(教育長)

ちくさ認定こども園竣工式の案内状況について、教えていただきたい。

(こども未来課長)

教育委員全員にご案内しており、ご都合がよければ出席をお願いしたい。

(田中委員)

学校給食の異物混入で、混入内訳の米ヌカとあるものについて説明をお願いしたい。また、お米の精米は給食センターで行われているのかも教えていただきたい。

(学校給食センター所長)

異物混入として米ヌカ混入の4件については、2件は洗米の中に米ヌカの若干大きな固まりとして混入したケースで、もう2件は洗米機のパイプの中に残存していたと思われる米ヌカの固まりが混入したケースである。

(こども未来課長)

以前、給食センターでの勤務経験があり補足の説明をする。精米されたお米を給食センターが購入しているが、お米の栄養価のこともあり精米度も7分づきのものを購入している。その米の洗浄過程で米ヌカが混入したものと思われる。

(弓削委員)

学校給食の異物混入で、金属類混入と、野菜等付着の虫混入では、状況は大きく違うと思う。混入を全て同じように捉えるのではなく、安全安心な給食のため、無農薬野菜を食材として使用していること等も、生徒児童に食の教育として発信していくことも必要と考える。

(学校給食センター所長)

食についての教育も、今後検討していく。

(こども未来課長)

以前、給食センターでの勤務経験があり補足の説明をする。例えば特に椎茸の中にいる虫は全ての混入発見が難しい食材であり、私たちの通常の食生活でも全てを発見できずに食しているケースもあると思われる。野菜からと思われる混入物発見時は、学校指導方法も含めて食の教育として児童生徒に発信できないか、対応方法の検討も含め教育委員会事務局の職員間での情報を共有する事も大切と思っている。

10 次回会議の招集について

平成27年9月28日（月）午後2時00分から、平成27年度第6回宍粟市教育委員会を宍粟市役所401会議室で開催すると決定した。

11 閉会

杉本委員が閉会した。

以上 午前10時55分終了